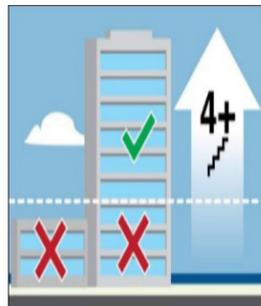


津波警報が発令されたら

- 避難が必要な場合には警報サイレンがなります。陸地での大きな洪水が予想されます。河川や小川、海につながるどの水路には強力な津波の影響があるので、絶対に近づかないでください。
津波避難区域以外にいる場合は、交通渋滞を最小限に抑えるために移動しないでください。
- 緊急時の情報は、ハワイのラジオやテレビ局、**HNL.info**またはNOAA気象ラジオを参考にしてください。(全米向けのニュース局ではハワイの情報が流れないことがあります)
- 都市部にいる場合には高いビルに避難することも選択の一つです。ビルなら最低でも10階建ての鉄筋コンクリートであること、そして4階より上に避難してください。
時間があるようならボートや船を沖に停泊させてください。
- 全てが異常なし(オールクリア)という安全宣言が地域の災害対策機関から正式に出されるまでは、津波避難区域に近づかないでください。地域の災害対策職員や司法当局に速やかに従ってください。津波避難区域には安全宣言が出されるまでは戻らないでください。
- 緊急時の情報や長期間の公共避難所、または災害時補助センターなどについては、ハワイのラジオやテレビ局、**HNL.info**またはNOAA気象ラジオを参考にしてください。



一つでも地震や津波のサインを感じたら、すぐに以下の行動をしてください:

- ただちにセーフゾーンに避難しましょう。とにかく沿岸地域の低地から高台を目指して移動してください。または10階建以上のビルなら4階より上の階に避難してください。
- 正式な警告を待たずにただちに避難してください。
- できるだけ車でなく徒歩か自転車で避難してください。
- 時間をとられるので、身の回りの物を持たず、すぐに避難してください。
- ビーチに戻らないこと。大波が何時間にもわたって繰り返し押し寄せてくる可能性があります。

準備しておきましょう

- 自分の居住区、仕事場、旅行先が津波避難区域や大津波避難区域、または安全区域であるかどうかを事前に念入りに確認しましょう。
- 津波避難情報や地図を事前に予習しておきましょう。
www.honolulu.gov/dem またはハワイアンテレコムของホワイトページ電話帳、または最寄りの公立図書館に避難区域情報などがあります。
- 生活用品をまとめた非常用持出袋(GO BAG)を事前に用意しておきましょう。非常用持ち出し袋(GO BAG)はバッグ、スーツケースやキットなど、緊急時に瞬時に持ち出せるものが便利でしょう。



Water



Food



Radio



Flashlight



Medicine



First Aid



Important Documents

GO BAG
の中身



遠くで地震や津波が発生したら

太平洋環帯で発生した地震については津波ウォッチ(注意報)、アドバイザリー(注意報)、ワーニング(警報)が出ているかを確認してください。

地震や津波を感じたらする行動

かがむ

地震の揺れで転倒しないように、手と膝をついて床にかがむこと。

おおう

頭や首を腕でおおい、落ちてくるものから守る。ガラスや窓から離れること。

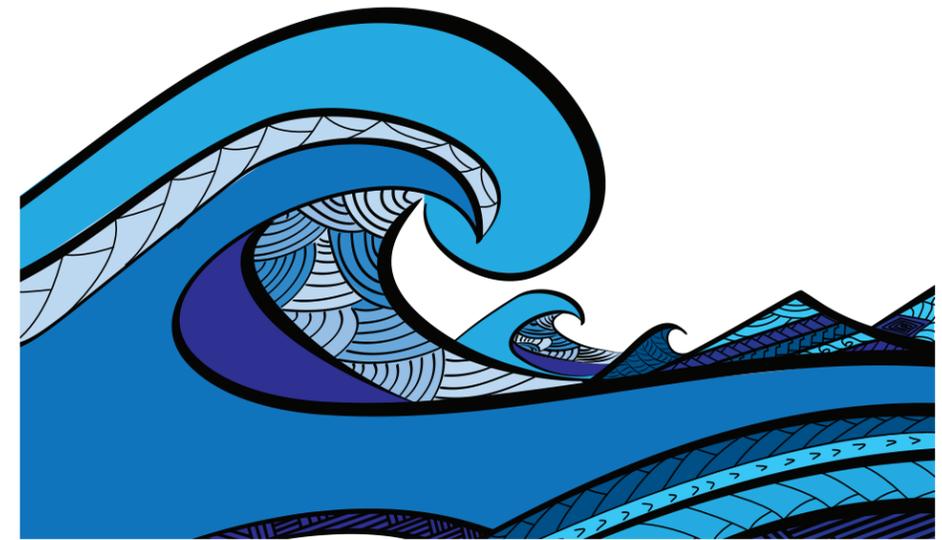
つかまる

揺れがおさまるまで机の下など身体が隠れる場所に入り、しっかりつかまってください。

- 揺れが止まるまで移動したり屋外に出たりしないこと。
- 地震により津波が近場に発生した場合、2-3分で津波が到着する可能性があります。地震の揺れが治まり次第、海のそばにいる場合はただちに高台に向かって、津波避難区域からできるだけ離れ、セーフゾーン内に避難してください。
- 津波警報が発令されるのを待たずに避難してください。
- 車は運転せず、歩きか自転車でセーフゾーンに落ち着いて向かってください。

日本語

(Japanese)



津波について

良くある質問

今すぐ津波対策

津波をよく知って、身を守ろう!

知っておきたい重要なインフォメーション

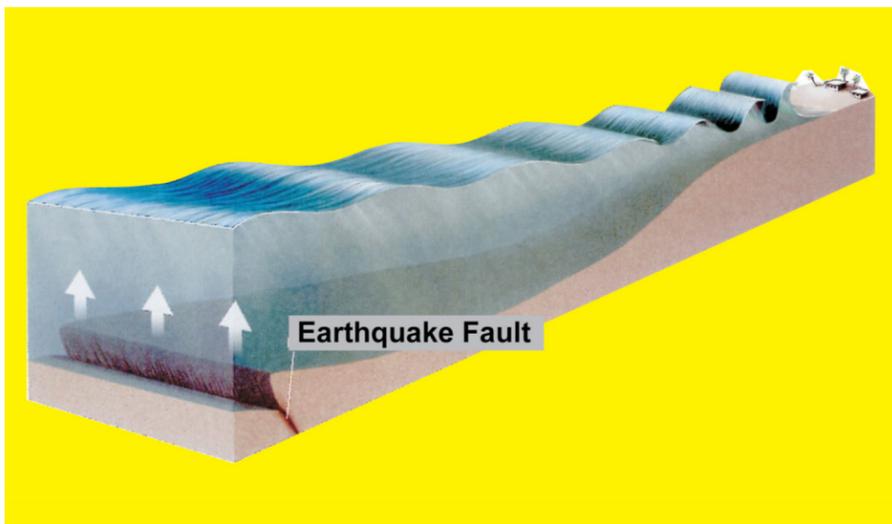


Department of Emergency Management
City and County of Honolulu
www.honolulu.gov/dem dem@honolulu.gov
Phone (808) 723-8960 TTY (808) 723-8966

O'AHU

津波とは

- 津波は何度も繰り返し押し寄せてくる非常に危険な長い大波です。津波を泳ぎやサーフィンで乗り越えることはできません。津波は、波乗りができるような巻く波と性質が違い、河川を襲う鉄砲水のように、強い勢いで一度に押しよせてくる波で、陸地に洪水／浸水を引き起こします。また津波は瓦礫も一緒に運んでくるので、それによって怪我する危険が非常に高いです。
- 津波は10分から一時間の間隔で、何時間も繰り返し続いて押し寄せる可能性があります。また最初の波が最大だとは限りません。
- 水深の深い場所では、津波は10センチほどの高さで、飛行機と同じくらいの速度(時速約800km)で移動します。
- 津波は岸に近づくにつれて速度を落としますが、それに伴って高さが大きくなります。そして壊滅的な強さで押し寄せ、海岸沿いの低地を襲い、命や土地に危険をもたらします。歴史的にハワイは30フィート(9m)の高さまで水害が出たことがあります。
- 津波はたいていの場合、水深の浅い海底での地震によって引き起こされます。
- まれに海底火山の噴火や、地滑りや地崩れ、隕石が原因で津波が起こることがあります。
- 家や小さなビルは津波の威力に耐えるように設計されていません。

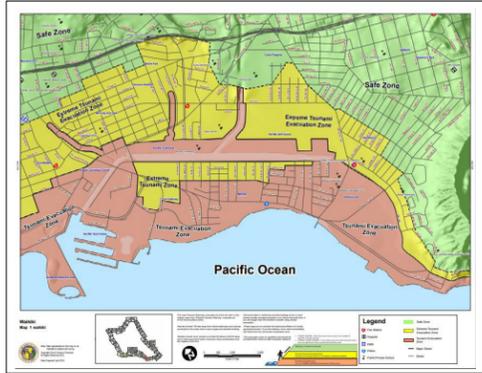


津波が近づいてきている時の自然のサイン

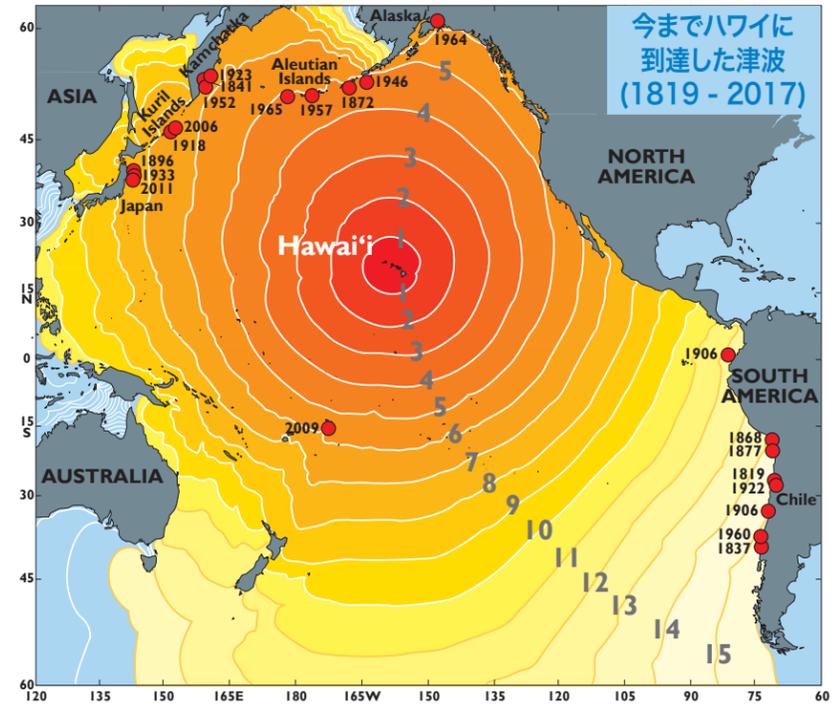
- 感覚: 強い地面の揺れ(地震)で立ってられないと感じる。
- 視覚: 海岸で水が異常に引いたり、渦を巻いたり、通常ではない変化が見られる。
- 聴覚: 津波が押し寄せてくるときにジェット飛行機や貨物列車のような深く響く音が聞こえる。

津波警報レベル (PACIFIC TSUNAMI WARNING CENTER)

- 津波情報声明**
この津波情報声明(津波インフォメーションステイトメント)が出されたら津波による影響はありません。
- 津波ウォッチ(警戒注意報)**
津波ウォッチが発令されたら津波が起こる可能性があるため避難準備をしてください。
- 津波アドバイザー(注意報)**
津波アドバイザーが発令されたら、ビーチや海岸沿いの低地やハーバーやマリナーから避難してください。
時間があるようなら、ボートや船を沖に停泊させてください。
強い潮の流れや危険な波が沿岸部や水路に起こる可能性がありますが、陸地での大きな洪水は予想されていません。
- 津波ワーニング(津波警報)**
津波ワーニングが発令されたら津波避難地図を参考に、赤い津波避難区域(太線)内から緑のセーフゾーンまでただちに移動してください。
- エキストリーム津波ワーニング(大津波警報)**
もしエキストリーム津波ワーニングが発令されたら、津波避難地図を参考に、黄色の大津波避難区域内(点線)と赤い津波避難区域内(太線)から緑色のセーフゾーンまでただちに移動してください。
マグニチュード9以上の巨大地震は大津波を引き起こすことがあります。最初の津波の到着が予想される3時間半しか避難には時間がないかもしれません。



津波避難区域マップ (Waikiki)



津波がハワイに到達するまでの時間 輪ごとに一時間を表す。

津波の後:いつ安全に戻れますか

- 津波は破壊的なものとそうでないものがあります。破壊的であれば、海と陸で緊急避難作業がすぐに開始されます。影響のあった区域に安全宣言が出されるまで何時間から何日もかかる場合があります。
- もし津波が破壊的でなければ安全宣言が出され、沿岸地域に戻ることができます。しかしこれは海に入って良いというわけではありません。
- 沿岸地域は津波による浸水や破壊された家屋、ビル、がれき、火事、危険物質の漏れ(HAZMAT)、そして電線や通信網、道路・橋・天然ガスラインなどのライフライン(生命線)となる公共システムが破壊されている可能性があります。そのような区域は、道路のがれきが除去されるまで一般の人たちは戻れません。
- 地域の災害対策委員が安全宣言を出すまでは低地や海には戻らないでください。

FOR MORE INFORMATION:
 DEPARTMENT OF EMERGENCY MANAGEMENT
 CITY AND COUNTY OF HONOLULU
 WWW.HONOLULU.GOV/DEM DEM@HONOLULU.GOV
 PHONE (808) 723-8960 TTY (808) 723-8966
 INTERNATIONAL TSUNAMI INFORMATION CENTER
 PACIFIC TSUNAMI WARNING CENTER
 HAWAII.TSUNAMI.ORG TSUNAMI.GOV ITIC.TSUNAMI@NOAA.GOV
 PHONE (808) 725-6050